



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月6日

上場会社名 リケンテクノス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4220 URL <http://www.rikentechonos.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 常盤 和明  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 高見 亮一 (TEL) 03-5297-1650  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月9日 配当支払開始予定日 平成29年12月4日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	45,890	6.3	2,554	△12.3	2,634	△1.6	1,202	7.0
29年3月期第2四半期	43,171	△3.3	2,912	48.3	2,677	37.9	1,123	47.7

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 1,922百万円( -%) 29年3月期第2四半期 △339百万円( -%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	20.36	18.07
29年3月期第2四半期	18.74	16.40

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	89,165	52,038	50.3
29年3月期	88,345	49,196	47.5

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 44,861百万円 29年3月期 41,974百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	5.00	—	6.00	11.00
30年3月期	—	6.00			
30年3月期(予想)			—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	96,000	8.7	6,500	10.9	6,500	11.4	3,000	10.4	51.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
新規 2社 (社名) RIKEN ELASTOMERS CORPORATION、RIMTEC MANUFACTURING CORPORATION  
除外 1社 (社名) RIMTEC CORPORATION  
(注) 詳細は、添付資料P.12「企業結合等関係」をご覧ください。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注) 詳細は、添付資料P.10「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年3月期2Q	66,113,819株	29年3月期	66,113,819株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	4,395,944株	29年3月期	8,079,834株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年3月期2Q	59,055,485株	29年3月期2Q	59,975,654株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予測のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	11
(企業結合等関係)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な雇用所得情勢を受けて、個人消費は緩やかな回復傾向が続いています。

海外では、米国経済は個人消費および設備投資の増加による景気回復が続いております。欧州経済は緩やかに回復しており、政策に関する不確実性も和らぎつつあります。中国では、各種政策の効果もあり、景気は持ち直しの動きがみられます。

産業別には、国内の自動車業界は、各社の新型車発売の効果もあり、堅調に推移しています。建材業界における住宅着工件数は横ばいの状況で、家電業界においては白物家電を中心に好調を維持しています。

このような環境の中、当社グループはグローバルな視点で顧客ニーズを確実に捉え、国内及び海外の経営資源を効率的に活用して受注につなげることで業績の向上に努めました。

以上の結果、売上高は45,890百万円(前年同四半期連結累計期間比(以下「前年同期比」)6.3%増)、営業利益は2,554百万円(前年同期比12.3%減)、経常利益は2,634百万円(前年同期比1.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,202百万円(前年同期比7.0%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### [コンパウンド]

国内のコンパウンド事業のうち、塩ビコンパウンドは、建材市場、電線市場、自動車市場で、総じて好調に推移し増収となりました。エラストマーコンパウンドは、食品市場で今夏の天候の影響で売上が減少しましたが、主力の自動車市場にて販売台数の増加に伴い増収となりました。

海外では、タイ国現地法人においては自動車市場、医療市場、中国現地法人においては電線市場において好調に推移しました。インドネシア国現地法人では医療市場で伸長するも電線市場で微減となり、ベトナム国現地法人では自動車・医療市場の販売が振るわなかったもののアジア全体としては増収となりました。米国では自動車市場、電線市場が好調に推移し、増収となりました。

利益につきましては、原材料価格の改定に伴う製品価格調整の遅れにより、減益となりました。

その結果、売上高は32,247百万円(前年同期比6.9%増)、セグメント利益は2,442百万円(前年同期比9.2%減)となりました。

#### [フィルム]

国内フィルム事業のうち、建装材市場の住宅分野では、賃貸向けは後半に着工ペースが落ちたもののパワービルダーやマンションが好調を維持し増収となりました。同市場の公共施設、オフィスビル、ホテル等の住宅以外の分野および広告メディア市場も需要好調で増収となりました。電線市場では、車両用は堅調に推移するも、民生用は中国市場での在庫調整もあり減収となりました。

輸出は、建装材市場では、北米及び中国向けの輸出は堅調に推移しましたが、欧州向けは回復の兆しが見えず苦戦が続いています。

光学分野では、国内外の顧客への販売を開始していますが大型案件の量産化が遅れ、本格的な売上拡大には至りませんでした。

利益につきましては、光学分野での開発費用負担の継続により、黒字化には至りませんでした。

その結果、売上高は6,553百万円(前年同期比10.2%増)、セグメント損失は126百万円(前年同期は128百万円の損失)となりました。

[食品包材]

国内の食品包材事業は、外食産業向け小巻ラップの販売は増加に転じるものの、業務用ラップでは、食品スーパー向け販売が低調に推移し、全体として売上は横ばいとなりました。

利益につきましては、物流費等の費用増により減益となりました。

中国現地法人は、拡販が進み増収となりましたが、原材料価格上昇による影響もあり減益となりました。

その結果、売上高は5,335百万円(前年同期比0.1%増)、セグメント利益は350百万円(前年同期比5.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は89,165百万円(前連結会計年度末比819百万円増加)となりました。これは主に棚卸資産等の増加や投資有価証券の時価が上昇したこと等によります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は37,127百万円(前連結会計年度末比2,022百万円減少)となりました。これは主に転換社債型新株予約権付社債の転換による減少等によります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は52,038百万円(前連結会計年度末比2,842百万円増加)となりました。これは主に転換社債型新株予約権付社債の転換に伴う自己株式の減少等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月8日の決算短信で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,508,274	14,332,796
受取手形及び売掛金	23,762,379	23,989,778
商品及び製品	5,731,533	6,625,361
仕掛品	558,400	562,639
原材料及び貯蔵品	4,823,450	4,746,866
繰延税金資産	429,567	388,840
その他	1,133,890	1,147,721
貸倒引当金	△129,560	△128,429
流動資産合計	50,817,935	51,665,574
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,737,777	9,390,954
機械装置及び運搬具（純額）	9,222,775	9,226,766
土地	6,427,165	6,419,585
リース資産（純額）	22,460	29,764
建設仮勘定	932,233	1,003,355
その他（純額）	618,154	671,164
有形固定資産合計	26,960,565	26,741,591
無形固定資産		
のれん	483,537	387,748
リース資産	3,745	2,913
その他	2,656,002	2,380,319
無形固定資産合計	3,143,285	2,770,981
投資その他の資産		
投資有価証券	6,035,880	6,681,091
長期貸付金	54,916	52,485
退職給付に係る資産	502,834	527,853
繰延税金資産	230,356	253,799
その他	603,906	476,136
貸倒引当金	△3,770	△3,770
投資その他の資産合計	7,424,123	7,987,596
固定資産合計	37,527,975	37,500,169
資産合計	88,345,910	89,165,744

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,913,755	16,903,269
短期借入金	6,544,873	6,235,927
1年内返済予定の長期借入金	315,635	87,340
リース債務	10,231	9,534
未払法人税等	575,041	599,547
賞与引当金	625,177	524,462
役員賞与引当金	63,100	44,264
その他	2,529,349	2,643,531
流動負債合計	27,577,165	27,047,876
固定負債		
社債	4,000,000	2,280,000
長期借入金	4,866,068	4,806,981
リース債務	21,468	25,428
繰延税金負債	1,159,930	1,384,660
役員株式給付引当金	17,410	68,742
退職給付に係る負債	1,069,617	1,066,575
資産除去債務	310,128	312,367
その他	127,782	134,677
固定負債合計	11,572,407	10,079,435
負債合計	39,149,572	37,127,311
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,514,018	8,514,018
資本剰余金	6,670,465	7,090,224
利益剰余金	27,137,248	28,013,556
自己株式	△3,108,532	△1,743,642
株主資本合計	39,213,200	41,874,157
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,785,333	3,258,300
為替換算調整勘定	502,996	223,788
退職給付に係る調整累計額	△527,469	△494,950
その他の包括利益累計額合計	2,760,859	2,987,138
非支配株主持分	7,222,277	7,177,136
純資産合計	49,196,337	52,038,432
負債純資産合計	88,345,910	89,165,744

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	43,171,574	45,890,214
売上原価	34,501,764	37,500,409
売上総利益	8,669,810	8,389,804
販売費及び一般管理費	5,757,294	5,834,911
営業利益	2,912,515	2,554,893
営業外収益		
受取利息	17,257	13,914
受取配当金	66,816	71,020
為替差益	—	14,803
その他	24,109	87,988
営業外収益合計	108,182	187,727
営業外費用		
支払利息	65,235	93,913
為替差損	269,835	—
その他	8,111	14,060
営業外費用合計	343,182	107,973
経常利益	2,677,515	2,634,646
特別利益		
固定資産売却益	2,075	2,143
投資有価証券売却益	0	64,358
特別利益合計	2,075	66,501
特別損失		
固定資産売却損	—	6,871
固定資産除却損	7,695	21,769
特別損失合計	7,695	28,641
税金等調整前四半期純利益	2,671,895	2,672,506
法人税等	822,554	849,353
四半期純利益	1,849,341	1,823,153
非支配株主に帰属する四半期純利益	725,544	620,515
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,123,796	1,202,637

## (四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	1,849,341	1,823,153
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	249,834	473,924
為替換算調整勘定	△2,479,413	△399,473
退職給付に係る調整額	41,192	25,379
その他の包括利益合計	△2,188,386	99,830
四半期包括利益	△339,045	1,922,983
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△172,582	1,428,915
非支配株主に係る四半期包括利益	△166,462	494,067

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,671,895	2,672,506
減価償却費	1,505,865	1,638,605
のれん償却額	95,788	95,788
賞与引当金の増減額(△は減少)	△142,068	△98,780
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	6,800	△18,835
貸倒引当金の増減額(△は減少)	12,544	△824
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	42,519	△99,002
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	5,803	51,331
受取利息及び受取配当金	△84,073	△84,934
支払利息	65,235	93,913
投資有価証券売却損益(△は益)	△0	△64,358
有形固定資産売却損益(△は益)	△2,075	4,728
有形固定資産除却損	7,695	21,769
売上債権の増減額(△は増加)	305,855	△355,711
たな卸資産の増減額(△は増加)	△434,294	△942,041
仕入債務の増減額(△は減少)	△608,173	98,819
未払消費税等の増減額(△は減少)	△86,699	△131,605
その他	500,685	402,142
小計	3,863,303	3,283,510
利息及び配当金の受取額	84,840	83,140
利息の支払額	△53,508	△95,259
法人税等の支払額	△749,867	△664,167
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,144,767	2,607,225
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△6,334	△118,075
定期預金の払戻による収入	619,124	118,853
有形固定資産の取得による支出	△2,722,881	△1,543,299
有形固定資産の売却による収入	2,075	5,131
無形固定資産の取得による支出	△144,606	△70,466
投資有価証券の取得による支出	△1,830	—
投資有価証券の売却による収入	0	92,134
貸付けによる支出	—	△1,000
貸付金の回収による収入	1,834	4,356
その他	△46,937	17,048
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,299,555	△1,495,316

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△305,448	△264,740
長期借入れによる収入	2,306,220	137,500
長期借入金の返済による支出	△241,289	△239,605
リース債務の返済による支出	△9,562	△10,649
自己株式の売却による収入	8,143	147,798
自己株式の取得による支出	△15	△137,661
配当金の支払額	△299,425	△350,241
非支配株主への配当金の支払額	△483,273	△481,016
その他	△59,688	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	915,660	△1,198,617
現金及び現金同等物に係る換算差額	△825,499	△83,434
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	935,374	△170,143
現金及び現金同等物の期首残高	13,444,325	14,369,863
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,379,699	14,199,720

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	コンパ ウンド	フィルム	食品包材	計				
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	30,165,617	5,947,494	5,330,232	41,443,344	1,728,229	43,171,574	—	43,171,574
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	113,200	—	—	113,200	377,209	490,409	△490,409	—
計	30,278,817	5,947,494	5,330,232	41,556,544	2,105,439	43,661,984	△490,409	43,171,574
セグメント利益又は セグメント損失(△)	2,690,627	△128,978	371,928	2,933,577	25,337	2,958,915	△46,399	2,912,515

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、合成樹脂成型品及び電線の製造・販売、また商品の仕入・販売であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、セグメント間取引消去△46,399千円であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	コンパ ウンド	フィルム	食品包材	計				
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	32,247,905	6,553,872	5,335,605	44,137,383	1,752,831	45,890,214	—	45,890,214
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	138,376	38,479	—	176,856	158,773	335,629	△335,629	—
計	32,386,281	6,592,352	5,335,605	44,314,239	1,911,604	46,225,843	△335,629	45,890,214
セグメント利益又は セグメント損失(△)	2,442,794	△126,958	350,525	2,666,361	△9,572	2,656,789	△101,896	2,554,893

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、合成樹脂成型品及び電線の製造・販売、また商品の仕入・販売であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、セグメント間取引消去△101,896千円であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

共通支配下の取引等

(1)取引の概要

①対象となった事業の名称及びその事業の内容

事業の名称：コンパウンド製造販売事業

事業の内容：コンパウンドの製造及び販売

②企業結合日

平成29年4月1日

③企業結合の法的形式

1)会社分割

分割会社	承継会社	会社分割の目的
RIMTEC CORPORATION	RIMTEC MANUFACTURING CORPORATION	製造部門を承継会社に分割
RIKEN ELASTOMERS CORPORATION	REC MANUFACTURING CORPORATION	同上

2)合併

合併会社	被合併会社	合併の目的
RIKEN ELASTOMERS CORPORATION	RIMTEC CORPORATION	販売部門を合併会社に集約

3)商号変更

商号変更前	商号変更後	会社の機能
RIKEN ELASTOMERS CORPORATION	RIKEN AMERICAS CORPORATION	販売及び統括会社
REC MANUFACTURING CORPORATION	RIKEN ELASTOMERS CORPORATION	製造会社の社名変更

④結合後企業の名称

RIKEN AMERICAS CORPORATION (当社の連結子会社)

RIKEN ELASTOMERS CORPORATION (当社の連結子会社)

RIMTEC MANUFACTURING CORPORATION (当社の連結子会社)

⑤その他取引の概要に関する事項

北米事業において、顧客の窓口を一本化し、需要に合わせて製造設備をフレキシブルに活用するため、製造子会社2社と販売を行う統括会社1社に再編いたしました。

(2)実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成25年9月13日)に基づき、共通支配下の取引として処理しております。